

# 第4回スクール21カップ 埼玉県スポーツ少年団U-10サッカー中央大会 実施要項

- 1 目的 日本将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指す。
- 2 主催 公益財団法人埼玉県スポーツ協会埼玉県スポーツ少年団
- 3 共催 埼玉新聞社
- 4 主管 埼玉県スポーツ少年団サッカー部会/埼玉県第4種少年サッカー連盟
- 5 後援 テレ玉、FM NACK5
- 6 特別協賛 スクール21 ((株) エジュテックジャパン)
- 7 協賛 (株) モルテン/大塚製薬 (株)
- 8 協力 (株) じぶん
- 9 期日会場 令和元年12月 1日 (日) 【1・2回戦】  
与野八王子グラウンド・東松山サッカー場  
令和元年12月22日 (日) 【準々決勝～決勝】  
新座市総合運動公園陸上競技場

## 10 参加資格

- (1) 2019年度埼玉県スポーツ少年団に登録済で、地区予選を勝ち抜いたチームであること。
- (2) (1) のチームに団員登録済みの選手であって、4年生以下の小学生で、スポーツ安全傷害保険に加入していること。  
\*埼玉県スポーツ少年団の団員登録が可能な期間は、追加登録を必ず行うこと。
- (3) 埼玉県スポーツ少年団の登録を切り後に新規入団した選手の参加については、多くの選手に対して大会への参加をさせる趣旨を鑑み、特例としてスポーツ安全傷害保険の加入証書の写しを提出し、埼玉県スポーツ少年団サッカー部会長の承認を得ることで参加を認めることとする。なお、転校又は転居による場合を除き、本大会予選開始以降の移籍登録選手の参加は不可とする。
- (4) 同一の単位団による複数エントリーについて上限を2チームとし、次の要件を満たしている場合にあってはこれを認めることとする。
  - 1 スポーツ少年団に登録済の4年生が当該チームに17名以上在籍していること。
  - 2 それぞれのチームに4年生がエントリーされていること。
  - 3 選手は本大会の全ての試合(地区予選から中央大会)においてチーム間の移動をしないこと。
  - 4 指導者(代表者を除く)はそれぞれのチームを兼務しないこと。
  - 5 それぞれのチームに有資格審判員を2名以上帯同出来ること。

## 11 競技方法及び競技規則

- (1) 本大会の全ての試合は、8人制で行う。
- (2) 試合時間は30分(15分-5分-15分)とし、トーナメント方式とする。
- (3) 規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は、ペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。なお、決勝戦のみ10分(5分ハーフ)の延長戦を行う。延長戦に入る前のインターバルは3分、ペナルティーマークからのキックに入る前のインターバルは1分とする。
- (4) 次のアからオ及び(5)の他は、日本サッカー協会競技規則2018/2019及び8人制サッカー競技規則による。

ア、1チーム8人の競技者によって行い、競技者のうち1人はゴールキーパーとする。

試合中、8人未満になり選手の補充ができない場合は、そのまま続行する。

(6人以上で試合成立とする。)

イ、退場者が出た場合は、交代要員の中から競技者を補充することができる。

ウ、競技のフィールドは68m×50mとし、ゴールは5m×2.15mとする。

使用球は4号公認ボールとする。

エ、キックオフから直接得点をすることはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。

オ、ペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決定する場合は、出場中の競技者3人により行う。

(5) 登録選手(16人以内)の範囲内で自由な交代とし、交代ゾーンを使用する。

・交代は、主審の承認を得ることなく、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

・ゴールキーパーの交代は、ボールがアウトオブプレーのときに、主審に通知し、主審の承認を得て行う。

・交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れても良い。

(6) フェアプレーに対し、積極的にグリーンカードを使用する。

(7) 三位決定戦は行わない。

12 表彰 第一位=賞状・優勝カップ・金メダル

第二位=賞状・盾・銀メダル 第三位(2チーム)=賞状・盾・銅メダル

優秀選手賞=メダル(中央大会に参加した各チーム1名)

13 閉会式(1)令和元年12月22日(日)決勝戦終了後、新座市総合運動公園陸上競技場

(2)中央大会参加したチームは全チーム参加すること。

14 その他

(1) 代表者会議及び抽選会

令和元年11月16日(土)18:30~ 埼玉県スポーツ協会 スポーツ総合センター  
持参する物;実施要項・確認事項(埼玉県スポーツ少年団HPから印刷)

以上

# 確認事項

## 1、メンバー表の提出及びユニフォームの確認について

- (1) 試合開始時刻50分前までにメンバー表を本部に提出する。
- (2) メンバー表は、指定の用紙に必要事項をすべて記入し、試合ごとに1部提出する。
- (3) 試合開始時刻40分前に、正副2組のユニフォームを持参して審判員によるチェックを受ける。  
(対戦相手と類似色の場合は、話し合い又は主審のトスにより決定する。)
- (4) 交代要員を含む全選手とメンバー表との照合及び用具等の確認を試合開始10分前から受ける。
- (5) ベンチに入る指導者(監督・コーチ)の資格は、認定員、認定員予定者及び認定員保留者に限る。  
(昨年度の認定員保留者は今年度の指導者登録されていない指導者は、無効になるので注意)

## 2、選手交代について

自由な交代とし、交代ゾーンを使用する。

## 3、ベンチについて

- (1) ベンチに入れる者は、登録選手16名以内と、登録された指導者(監督・コーチ)2名以上5名以内とする。
- (2) チームベンチは競技のフィールド向かって左側をトーナメント表の若い番号のチームとし、対戦相手が右側とする。
- (3) 退席を命じられた指導者(監督・コーチ)は、次の1試合はベンチに入ることはできない。
- (4) ベンチでの携帯電話・カメラ・ビデオ等の使用は禁止する。

## 4、警告・退場について

- (1) 地区予選及び本大会を懲罰規定上の同一競技会とみなし、地区予選終了時点での未消化の出場停止処分は、本大会において順次消化する。
- (2) 退場を命じられた選手は、次の1試合は出場できない、警告を累積2回受けた選手も同様とする。
- (3) 地区予選終了時点で累積の警告は消滅し、本大会には持ち越さない。

## 5、競技場内での飲水について

- (1) 試合中必要に応じて飲水タイムを設ける。
- (2) 水以外の“スポーツドリンク”等の持ち込み及び摂取については別に示す。

## 6、審判について

- (1) 1～3回戦の副審はチーム帯同とし、他は第4種少年連盟審判委員会からの派遣審判員が行う。
- (2) チームは適任の審判員(2名)を選任する。
- (3) チーム帯同審判員は、諸準備を整えて担当試合開始時刻45分前に本部に集合し担当主審による審判証の確認を受け、所要の打ち合わせ等を行う。

## 7、天候その他の事由による中断・中止等の場合の処置

- (1) 試合途中で中断した場合  
・再開後の試合時間は規定の試合時間の残り時間とする。  
・再開できない場合は、その時点の得点をもって試合終了とし、両チームが同点または共に無得点の場合は主審のトスにより勝者を決定する。
- (2) 試合が開始できない場合  
・大会本部が行う抽選により勝者を決定する。

## 8、その他

- (1) チームの代表者は、自チームの試合開始時刻1時間前までに受付を済ませること。
- (2) 試合中のグラウンド外でのアップは指定された場所で行うこと。  
ハーフタイム中のグラウンド内での練習は不可とし、試合前のグラウンド内での練習は指示に従うこと。
- (3) チームの責任者は、帰る時も必ず本部に報告すること。
- (4) 指定された場所以外での喫煙は禁止する。
- (5) 弁当容器・ペットボトル・空き缶等のゴミは、すべてチームの責任で持ち帰ること。
- (6) 得点者の報告: チームの責任者は、自チーム試合終了後、速やかに指定用紙(試合結果報告書)にて得点者の報告を行うこと。

## 9、実施要項・確認事項の各条項が守られない場合、大会運営に対し不適切な行為等があった場合ならびに前3(3)・

- 4(2)については、本大会のフェアプレー・規律委員会において審議する。(JFA規律規定による。)